

農村振興局長賞（被害防止部門（個人））

町内のサルの加害群全てにGPS首輪を装着・管理によりサルの分布や誘導域の「見える化」と、住民への情報提供により効率的な追い払いにつながっているほか、研修会等の開催により、地域住民や自治体職員の鳥獣被害対策に対する意識変化に貢献。

はたの けんじ
波多野 健治

ひがしかんばらぐん あがまち
新潟県東蒲原郡阿賀町

主な取組

- 臨時職員や実施隊の一員としてサルパトロールやテレメトリー調査、ワークショップの開催により、地域での合意形成を進め、電気柵の整備と管理に取り組んでいたが、ニホンザルをはじめとした有害鳥獣の被害防止に寄与したいとの思いから阿賀町へ定住を決意し、平成30年に「新潟鳥獣警備」を立ち上げ、地域と一体となった活動を行っている。
- GPS首輪を町内のサル加害群（29群）全てに取付け、群れの管理を行っており、無線機を使ったテレメトリーでは加害群の位置の「見える化」を実現し、追い払い活動のため住民に1日6回の情報提供を行っている。また、GPSシステムにより群れの軌跡、分布を把握・活用することで、予測捕獲や加害群の選択捕獲が可能となった。
- 地域住民を対象とした学習会では、サルの生態から個体数管理について誘引要素やその除去、電気柵の管理などについて住民目線での講話を通じて、「他人任せ」ではなく「自ら率先して行動する」といった地域住民の意識変化が見られた。また、自治体職員を対象とした研修会では、捕獲のみではなく、捕獲と群管理、環境整備という点から加害群管理の必要性を唱え、「捕獲ありき」から「行政と地域・集落が協力して実現可能なものから実践していく」といった意識変化がなされた。

【サルによる被害額（阿賀町） 400万円（平成26年度）→約370万円（令和2年度）】

【サルの捕獲数（阿賀町） 36頭（平成26年度）→215頭（令和2年度）】